



おすすめ品種紹介 第48回

全農 営農情報・システム推進室では、生産者にあらかじめ定番としておすすめしたい品種・新定番となりうる品種について、種苗会社にアンケートを実施いたしました。毎号、担い手生産者向けのおすすめ品種を品目ごとにご紹介いたします。

きゅうり

きゅうりは、爽やかな食感とみずみずしさが特徴の夏野菜ですが、現在は施設栽培や栽培技術の向上により周年出荷されています。サラダや酢の物、漬物など、さまざまな料理に利用されます。また、ビタミンCやカリウムなどミネラルと水分が豊富であるため、夏場の水分補給にも役立ちます。夏から秋にかけては東北産の露地や簡易施設での栽培を中心に、冬から初夏にかけては西南暖地や関東で加温による栽培が行われており、耐病性を持つ品種や周年生産に向けた品種の改良が進められています。

鮮緑でテリがあり食味が優れる



フリーダムハウス1号
(品種:フリーダム)
(株)サカタのタネ

草勢は旺盛で、やや大葉、葉色が淡い。イボのない円筒形で、曲がり少なく、秀品率が高い。渋みや青くさが少なく、甘みが強い。きゅうり独特の香りが強く、風味がよい。うどんこ病に極めて強く、べと病にも強い。

栽培のポイント

適期収穫がポイント。太さ2.8cm、長さ18~19cm、重さ100gを超えないサイズが目安。雌花の多い品種であるため、常に収穫サイズを守ることによって樹バテを防ぎ、収量を上げることができる。

親蔓節成り系で、うどんこ病に強い



節成りスマート
トキタ種苗(株)

節ごとに実がつき、親蔓を伸ばすだけで収穫できる。きゅうりネットや子蔓・孫蔓の仕立て管理が不要。着果の開始が早いので、越冬作のトマトハウスなどで次作の

定植までの短期間栽培を行えば圃場を有効活用できる。

栽培のポイント

親蔓が支柱や誘引紐の上端まで達したら、蔓先を少し下ろして横にずらし固定するだけで、着果の位置が一定で管理できる。不慣れな作業者でも簡単に収穫管理ができる。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
フリーダムハウス1号	促成	一般地		■	■	■	■	■	■				○	▼
	半促成(加温)		▼	■	■	■	■	■	■				○	
	半促成(無加温)			○		▼	■	■	■	■				
	露地・夏秋					○	▼	■	■	■	■	■		
	ハウス雨よけ						○	▼	■	■	■	■	■	
	抑制(無加温)							○	▼	■	■	■	■	■
	抑制(加温)								○	▼	■	■	■	■
	晩抑制		■	■						○	▼	■	■	■
節成りスマート	半促成	一般地	○	○	▼	▼	■	■	■	■				
	露地					○	▼	○	▼	■	■	■	■	
	抑制								○	▼	○	▼	■	■
ミニミニ千成	ハウス半促成	一般地	○	▼	○	■	■	■	■	■				
	露地					○	▼	○	▼	■	■	■		
	ハウス抑制							○	▼	○	▼	■	■	

◇: ハウス ○: 播種 ▼: 定植 ■: 収穫

果長7～8cm、可愛いミニきゅうり



ミニミニ千成

中原採種場(株)

果長7～8cm、果重30g前後のミニきゅうり。イボがない光沢のある濃緑果。着果は旺盛で、曲がり果や奇形果は少ない。主枝、側枝とも完全節成り+房成りで、1節に1

～3果着果する。果実はきゅうり本来の香りを持ち、苦味はない。

栽培のポイント

うどんこ病に抵抗性を持ち、べと病にも強い。家庭菜園、営利栽培のいずれにも適し、コンパクトな草姿を活かしたベランダでのプランター、鉢植え（あんどん仕立て）栽培も可能。作型はハウス半促成、露地、ハウス抑制栽培まで幅広く利用できる。

ユニークで食味に優れた半白ミニきゅうり



半白きゅう太郎

丸種(株)

果長10～12cm、果重50g前後のミニ半白きゅうり。果皮はやわらかく、歯切れがよいので、サラダなどの生食に向く。主枝は完全節成りで、主枝、側枝どちらにも複数の

花が咲く多収性品種である。

栽培のポイント

小葉で草勢がおとなしいため、株間40～50cmで定植する。追肥は収穫開始1週間目ぐらいから、N・P・K成分で1～2kg/10a程度を毎週1回行い、肥料切れや成り疲れさせないようにする。

食感のよい多雌花ミディ系きゅうり



できすぎなるなる

ナント種苗(株)

果長18cmくらいのミディサイズ。日本の普通系では珍しい多雌花性で、春まきで90～100%。たまに同じ節に2～

3花の雌花が着くこともある多収型。うどんこ病、べと病、ウイルス病（ZYMV）に耐病性。

栽培のポイント

一般的なきゅうりより短いものの、早生で多収であるので、追肥・かん水が遅れないように心がける。

病気に強く、多収で美味しい



夏のおくりもの

渡辺農事(株)

べと病、うどんこ病、褐斑病、ZYMVに強い。主枝の茎は中太で徒長しにくく、子枝はゆっくりと順次発生する。安定した雌花着生で、果実の肥大が早く、初期より

多収。果実は光沢のある濃緑色。

栽培のポイント

定植後は、十分なかん水により活着を促す。収穫開始時より追肥を始め、肥効を継続させる。草勢維持のために下段の側枝、雌花は除去する。成り疲れ、曲がり果、尻太果が発生した場合は早めに摘果し、草勢を回復させる。

品種	作型	地域	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
できすぎなるなる	初夏～秋どり	一般地				○	▼	■	■	■	■	■		
	夏～秋どり	寒冷地				○	▼	○	▼	■	■	■		
半白きゅう太郎	ハウス雨よけ	一般地		○	▼	○	▼	■	■	■	■			
	トンネル				○	▼	○	▼	■	■	■			
	露地				○	▼	■	■	○	▼	■	■	■	■
	抑制							○	▼	○	▼	■	■	■
夏のおくりもの	夏秋どり	寒冷地				○	▼	○	▼	■	■	■	■	
	初夏～初秋どり	一般地			○	▼		■	○	▼	■	■	■	■
	初夏～秋どり	暖地			○	▼		■	■	○	▼	■	■	■

○：播種 ▼：定植 ■：収穫 ○：トンネル

ナント種苗株営業部 Tel.0744-22-3351

丸種株営業部 Tel.075-371-5101

渡辺農事株営業部 Tel.04-7124-0111